

益田市行財政改革取組方針

➤ 現状・課題

人口減少・少子高齢化
より一層の財政健全化

社会の急速なICT化

スマート自治体*への転換による
市民サービスの水準維持

予見不能な社会情勢

柔軟かつスピーディな対応

SDGsの達成

全世界で2030年までに達成

*「スマート自治体」とは、AI・RPAなどのICT活用により業務を効率化する自治体のことです。

➤ これからの行財政改革

明確なゴール・スピード感・柔軟性

仕組みづくり

新たな行財政改革

➤ めざす姿

益田市の将来像を見据え、持続可能な行財政運営をめざすことで、SDGsの達成に貢献します。

マインド

誰一人取り残さない「まちづくり」

- 市民ニーズに対応した行政サービスを提供します。
- 限りある資源を適正に配分し、効率的な行財政運営をめざします。
- 地域間・世代間の格差を解消し、住み続けられるまちづくりを進めます。

スキーム

持続可能な仕組みづくり

- 変革を生み出す「ひとづくり」を進めます。
- 歳入確保・歳出削減を進めます。
- 事務を適正に執行します。
- 公共施設の適切なマネジメントを進めます。

ダイバーシティ

多様性ある行政運営

- 情報発信を強化し、市民参画・官民連携を促進します。
- 子どもから大人まで、あらゆる市民の多様な価値観や発想を行政運営に生かします。



➤ 具体的な取組事項 R3（2021）～R7（2025）

めざす姿の実現に向けて、行革推進室が中心となって取り組みます。

業務効率化・適正化

業務改善提案活動の継続
内部統制制度導入
押印見直し

ICT化

AI・RPA導入
電子決裁導入
デジタル化・ペーパーレス化

財政健全化

公共施設マネジメント
補助金見直し
使用料・手数料見直し

市民参画・官民連携

情報発信強化
ホームページ刷新